

資格名	分野	専従者	氏名	取得年	看護師特定行為	活動内容	活動実績	目指していること・私のモットー	
診療看護師			小川喜久恵	2017年	修了	救急外来患者の対応 救急科入院患者の対応 救命・ICU入室患者の対応 一般病棟患者の状態変化等に関する相談 特定行為の実施 スタッフ指導 など	嬉野医療センター附属看護学校講義 看護協会でのNPCに関する説明会 院内ラダー教育の講義 看護師特定行為研修指導者 院内BLS指導者	看護と医学的な視点で患者様の全体像をとらえ、医師、看護師、その他のメディカルスタッフと協働し、よりよいチーム医療の提供を目指しています。	
			濱野智恵子	2019年	修了	救急外来患者の対応 救急科入院患者の対応 救命・ICU入室患者の対応 一般病棟患者の状態変化等に関する相談 特定行為の実施 スタッフ指導 など	嬉野医療センター附属看護学校講義 看護師特定行為研修指導者 院内BLS指導者	医学知識や特定行為を活用しながら、看護師の観察力と気づきを大切に、患者さんの医療や療養生活が安全・安楽に過ごせるよう支援していきたいと考えています。	
			中山由理奈	2023年	修了	現在、院内で研修中	嬉野医療センター附属看護学校講義 看護師特定行為研修指導者	医師、看護師をはじめ多職種と連携し、患者様へタイムリーで、効果的な医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。	
専門看護師過程修了	がん看護		今村果奈代	2014年	未	緩和ケア病棟における看護 院内・院外講義	看護協会・医師会の講演 緩和ケア研修会（PEACE）開催協力者	病気について考えにくい若い世代のがん教育について学びを深めたいと思っています。	
認定看護師	皮膚・排泄ケア	●	南川栄子	2009年	未	褥瘡対策に関する活動（褥瘡ラウンド、カンファレンス、機会教育等） ストーマ外来 ストーマ造設術後の相談対応（入院） 院内・院外講義	2023年度実績 嬉野医療センター附属看護学校講義 鹿島郡津地区医師会立看護高等専修学校講義 NHO佐賀病院地域連携セミナー講師 医療法人にゅつ会及川病院褥瘡研修会講師 医療法人せいの会みなかぜ病院褥瘡対策研修会講師 九州ストーマリハビリテーション講習会運営支援	患者さんより観て、新たな皮膚障害（褥瘡、スキナー・MORPU等）の予防対策の徹底。持ち込みや新たな皮膚障害に対して早期治療できるような看護を実現する。 ストーマ造設された患者さんができる限り安心・安楽に生活できるような支援をしたい。	
			近松あや	2015年	未	・病棟看護師と共に入院患者に対する緩和ケアの実践（苦痛症状の緩和、精神的支援、意思決定支援、家族ケアなど）	他施設、看護学校の講義 E-FIELD研修会指導者	私達の関りが患者さんの人生に関わっていることを念頭に置き、患者さんの1日1日を大切に看護を実践していきたいと思っています。 患者さんが大切にしていること、価値観を尊重した対応を心がけ、どのように生きていきたいのかを共に考えられる看護師さんを育てていきたいです。	
	緩和ケア	●	小森康代	2016年	未	緩和ケアの実践（緩和ケアチームに所属し主にがん患者・家族を対象としている） ○外来・病棟ICU同席による支援 ○鎮痛剤の説明、スタッフへの指導 ○全人的苦痛の包括的アセスメントと症状緩和の実践、スタッフへの指導 ○他職種との共働と緩和ケアの推進 ○苦痛のスクリーニングでの相談対応 院内・院外講義	近隣の医療機関、看護協会、附属看護学校の講義 佐賀県緩和ケア研修会 講義・ファシリテーター 筑前がん看護研究会「ERLNEC-1」演習支援者 ELNEC-1 看護指導者 インドオンラインケア協会 ファシリテーター	緩和ケアは、「患者さんが最期までその人らしく生きるための支援です！苦痛な症状を和らげ、患者さんの大切にしたい生き方を共に考えていける看護師を育てていきたいです。 緩和ケアを提供する人たちの緩和ケアが必要であることを伝えていきたい、傍に寄り添うことがアリアリウること（ネガティブ・ケイバリティ）を伝えていきたいです。 そのため、コミュニケーション力を高め相談しやすい関係性づくりを大切にしていきたいです。	
			山本愛	2020年	未	・専任活動（一般病棟所属） ・外来・入院中の病状説明の同席 ・患者・家族に対する心理的不安を軽減するための関わり ・がん患者の苦痛症状緩和に向けた緩和ケア ・意思決定支援	院内ラダー教育の講義 嬉野医療センター附属看護学校講義 佐賀県がん看護研究会「ELNEC-1」演習支援者	緩和ケアを必要としている患者さん、そのご家族の痛みや気持ちのつらさなどの苦痛症状が軽減できるように関わっています。 病気のことで、それ以外にも仕事や、お金、これからの生活のことなど様々な問題に直面されている方が多く、その中で様々な選択（意思決定）をしなければいけません。 患者さんの意思決定支援にも力をかけています。	
	がん化学療法	●	井手千佳子	2010年	未	・外来がん化学療法室における抗がん剤投与管理 ・外来がん患者のICU同席 ・院内・院外講義	・嬉野医療センター附属看護学校講義 ・鹿島看護学校講義	外来病院で抗がん剤治療を受ける方は、予測可能な有害事象を出来る限り予防・調整しながら日常生活を継続されています。対象に応じてオリエンテーションや保健指導、アドバンスケアを実施することで患者様の日々を充実させるサポートが出来ることを目指しています。	
			河上ひとみ	2013年	未	・ICU入院患者の看護 ・救急外来患者の看護 ・ドクターカー対応 ・MET対応 ・RST活動 ・一般病棟重症患者看護のケア相談や指導 ・院内、院外講義	・嬉野医療センター附属看護学校講義 ・看護協会での講演 ・院内ラダー教育の講義 ・院内BLS指導者 ・NHO主催「RRSセミナー（導入編）」ファシリテーター	ICUには病態が多岐にわたり、重症な患者様が入院されています。生命の危機的状態にある患者様が元の日常生活に戻れるように、「救命のその先にある生活を見据えて」を意識して、日々患者様と関わっています。	
	感染管理	●	重松孝誠	2014年	修了	ICTラウンド 医療関連感染サーベイランス 院内・院外講演 他施設の実地指導 など	看護協会・近隣医療機関の講演 佐賀県感染対策地域連携協議会 世話人 令和元年九州北部豪雨避難所感染対策指導 新型コロナウイルス感染症 クラスター対策 実地指導	感染対策は車の運転と同じです。 自分だけが気を付けていても、感染（事故）を防ぐことはできません！ 軒先地域の医療環境を守るため、各医療機関が同じ意識で感染対策に取り組むことができるよう、地域に出向き活動していきたいと思っています。	
			森佑太郎	2020年	未	・兼任活動（一般病棟所属） ・医療関連感染サーベイランス（VAE,SSI） ・ICTラウンド	・佐賀県感染対策地域連携協議会 世話人 ・佐賀県感染対策地域連携協議会 派遣活動	菌やウイルスは目に見えないため、新型コロナウイルスの流行により一時は感染対策の意識が高まりましたが、R5.5月に5類感染症になってからスタッフの徐々に感染対策の意識が低下してきているのではないだろうか？行動を変えてくれない時は、必要性の指導だけでなく、行動変容しやすいための工夫をするように心がけていきたいと思っています。	
	認知症ケア			池田真子	2018年	未	・認知症ケアチーム（DST）での活動 院内ラウンド、カンファレンスの実施 ・DST介入の依頼相談 ・認知症患者やせん妄ハラス患者の対応についての相談 ・院内、院外講義	・嬉野医療センター附属看護学校講義 認知症高齢者の看護 ・佐賀県看護協会 認知症対応力向上のための研修 講義 ・佐賀県看護協会 認知症看護 講義 ・白石共立病院 認知症看護講義	認知症の人がその人らしく過ごせるように認知症の人に寄り添い「愛」を持って接することが認知症看護だと思います。 急性期病院へ入院される患者様が治療を受けられ回復できるように安心して療養環境づくりを多職種も含め一緒に検討していきたいと思っています。
	クリティカルケア			中島舞	2021	修了	・救急外来での看護 ・救命救急センターでの看護 ・ドクターカー担当 ・MET対応 ・特定行為の実践 ・看護師特定行為研修指導 ・院内、院外講義	・佐賀県看護協会での講演 嬉野医療センター附属看護学校での講義 院内ラダーの講義 ・特定行為研修 指導者 ・院内BLS 指導者 ・JNTEC インストラクター	救急の場面では、患者さんだけでなくご家族の擁護者としても苦痛や不安が少しでも軽減できるような声かけや介入を心がけています。患者さんの身体的側面だけでなく、患者さんご家族の心理的側面・社会的背景など全人的に捉え、「自分の大切な人だったら」という視点を意識して日々看護に取り組んでいます。